

裏面は試験問題になっているので、指示があるまで見てはいけません。

平成22年度

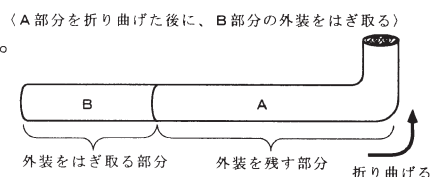
# 技能試験

〔試験時間 60分〕

試験が始まる前にこの頁に書いてあることをよく読んでください。

## << 注意事項 >>

1. 電線接続箇所のテープ巻きは省略し、作品は作業板（板紙）に取り付けないものとします。
2. ケーブル及び絶縁電線の被覆のはぎ取り方法は、直角むき又は鉛筆むきのどちらでもよいものとします。
3. 電源側電線及び省略部分への電線の端末は、切断したままとします。
4. 支給してある制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル(CVV)の外装をはぎ取る作業では、ケーブルが短いため、残しておきたい方の外装が抜けてしまうこともあるので、右図のように、A部分を折り曲げた後にB部分の外装をはぎ取ってください。
5. 試験監督員の指示に従い、受験番号及び氏名を受験番号札に記入し、試験終了後、作品に取り付けてください。
6. 試験終了後は、速やかに作業を止め、工具をしまってください。試験終了後も作業を続ける場合は、失格となります。



## << 支給材料の確認 >>

試験開始前に、試験監督員が指示しますので、指示に従って与えられた材料等を下記の材料表と必ず照合し、材料の不良や不足等があれば試験監督員に申し出てください。  
ただし、試験監督員の指示があるまで照合はしないでください。

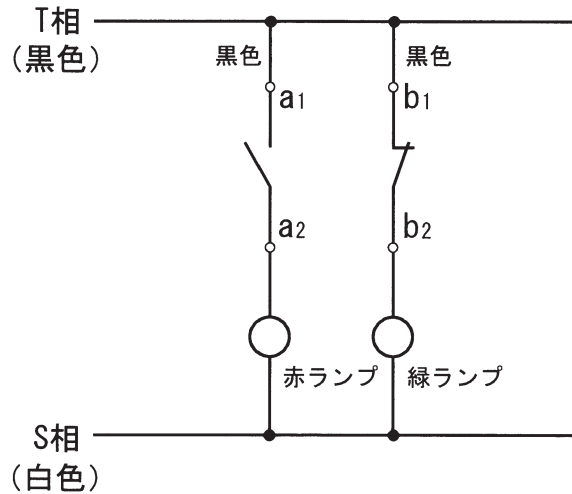
材 料	
1. 高圧絶縁電線 (KIP)、8mm <sup>2</sup> 、長さ約 500mm	1 本
2. 制御用ビニル絶縁ビニルシースケーブル、2mm <sup>2</sup> 、3 心、長さ約 1050mm	1 本
3. 600V ビニル絶縁電線、2mm <sup>2</sup> 、緑色、長さ約 200mm	1 本
4. 600V ビニル絶縁ビニルシースケーブル平形、1.6mm、3 心、長さ約 450mm	1 本
5. 端子台 (VT の代用)、2P、大	2 個
6. 端子台 (VCB 補助接点の代用)、4P、小	1 個
7. 埋込連用パイロットランプ (赤)	1 個
8. 埋込連用パイロットランプ (緑)	1 個
9. 埋込連用取付枠	1 枚
10. ジョイントボックス (アウトレットボックス 19mm ノックアウト 4 箇所 打抜き済み)	1 個
11. ゴムブッシング (19)	4 個
12. リングスリーブ (小)	5 個
予 備 品 (減点なしで使用できます)	
リングスリーブ (小) 3 個	1 袋
材 料 以 外	
1. 受験番号札	1 枚
2. ビニル袋	1 枚

## << 試験中の材料等支給 >>

リングスリーブは、作業のやり直し等により不足が生じた場合、申し出（挙手をする）があれば追加支給します。なお、追加支給しても減点の対象とはなりません。  
ただし、その他の材料（電線類、器具等）は追加支給しませんので、注意してください。



図 4. VCB開閉表示灯回路の展開接続図



### 「施工条件」

1. 配線及び器具の配置は、図 1 に従って行うこと。
2. VT 及び VCB 補助接点代用の端子台は、図 2 に従って使用すること。
3. VT 代用の端子台の結線及び配置は、図 3 に従い、かつ、次のように行うこと。
  - (1) VT (T<sub>1</sub>、T<sub>2</sub>) の 1 端子に結線できる電線本数は 2 本以下とする。
  - (2) 接地線は、VT (T<sub>1</sub>) の v 端子に結線する。
  - (3) VT 代用の端子台の二次側端子のわたり線は、より線 2mm<sup>2</sup> (白色) を使用する。
4. VCB 開閉表示灯回路は、図 4 に従うこと。なお、パイロットランプ間のわたり線は、単線太さ 1.6mm (白色) を使用すること。
5. 電線の色別 (ケーブルの場合は絶縁被覆の色) は、次によること。
  - (1) 接地線は、緑色を使用する。
  - (2) 接地側電線は、すべて白色を使用する。
  - (3) VT の二次側の配線は、R 相に赤色、S 相に白色、T 相に黒色を使用する。
6. ジョイントボックス内の電線は、必ず接続点を設け、その接続は終端接続とし、リングスリーブによる接続とすること。
7. ジョイントボックスは、打抜き済みの穴だけをすべて使用すること。